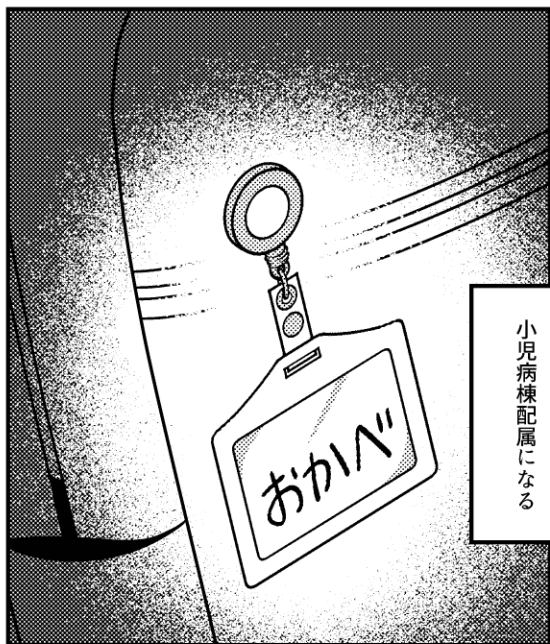


その言葉は、
誰のため？



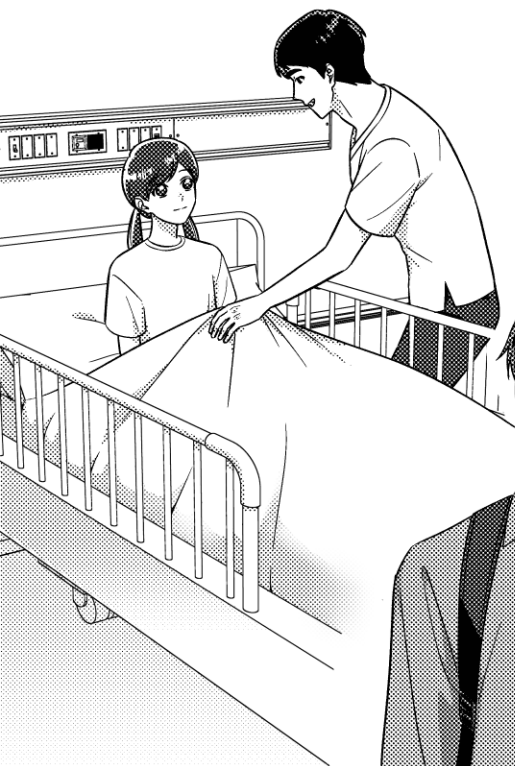
生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 日本看護協会



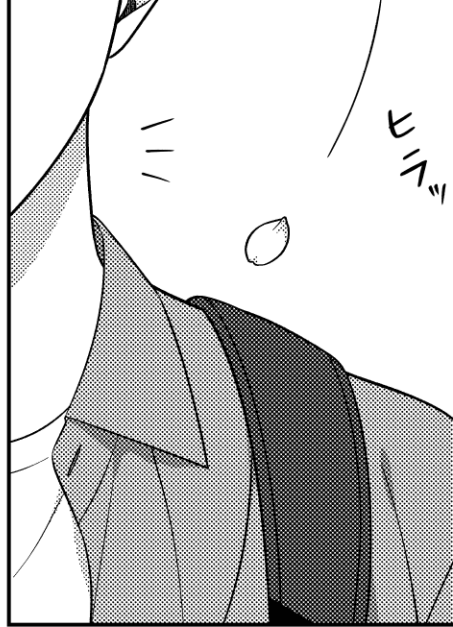
僕は今日から

小児病棟配属になる



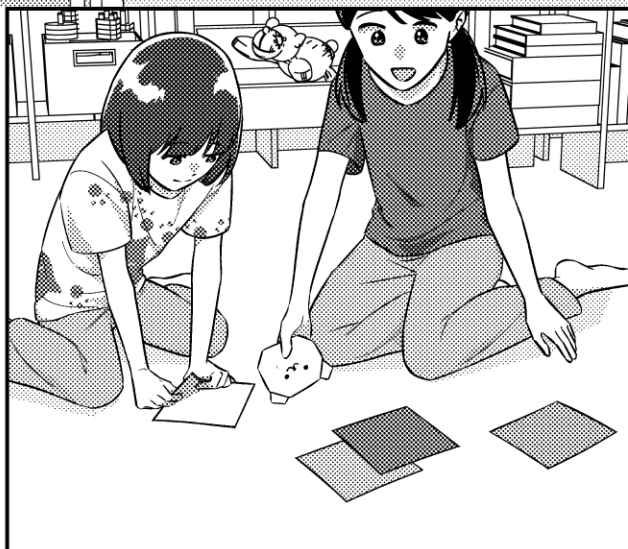
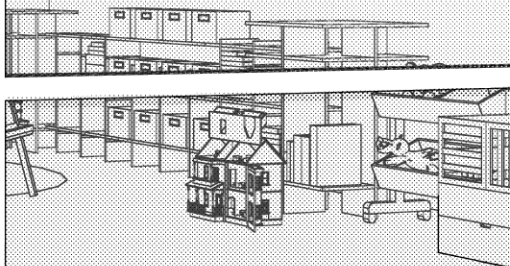
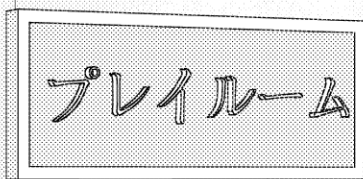
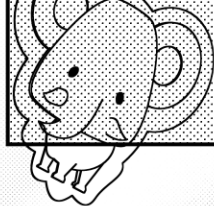
子どもたちのいのちをまもる
責任のある仕事だ

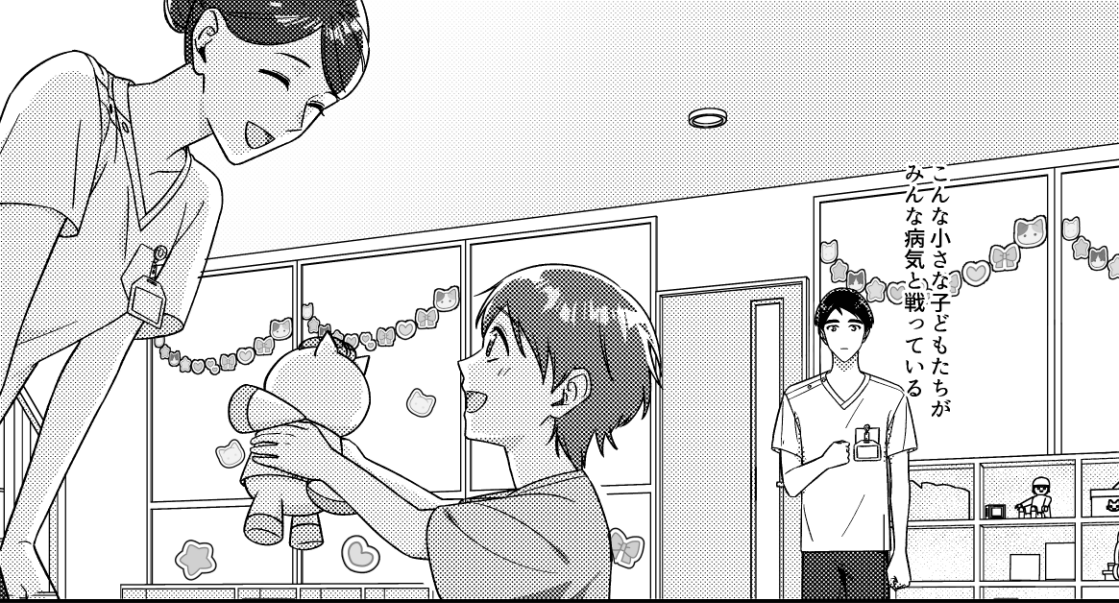




不安や痛みと闘う
子どもたちを

支えられる
看護師になりたい



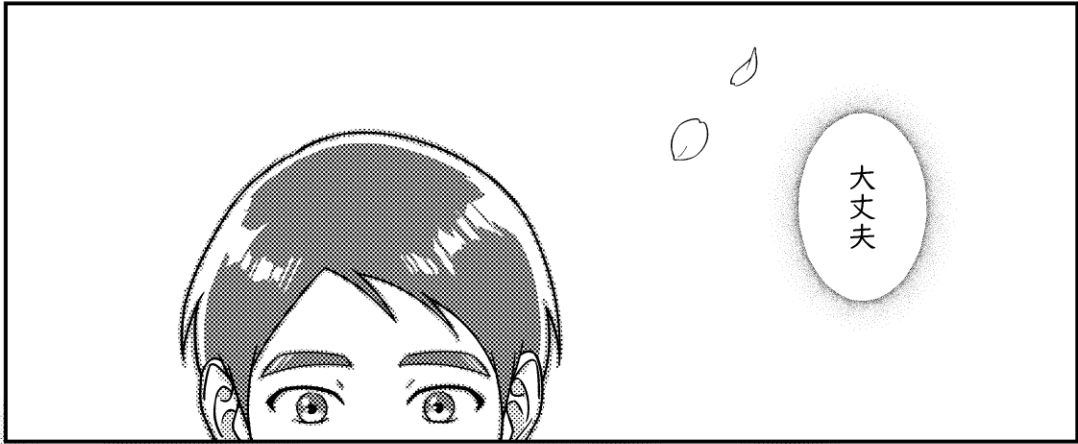


こんな小さな子どもたちが
みんな病気で戦っている

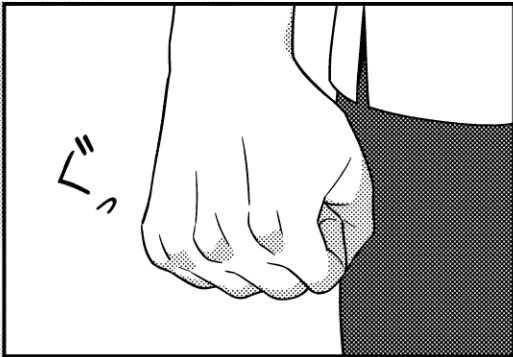


ここは「いのちの現場」
であると同時に、
子どもたちにとっての
「日常の場」でもあるんだ

プレイルーム

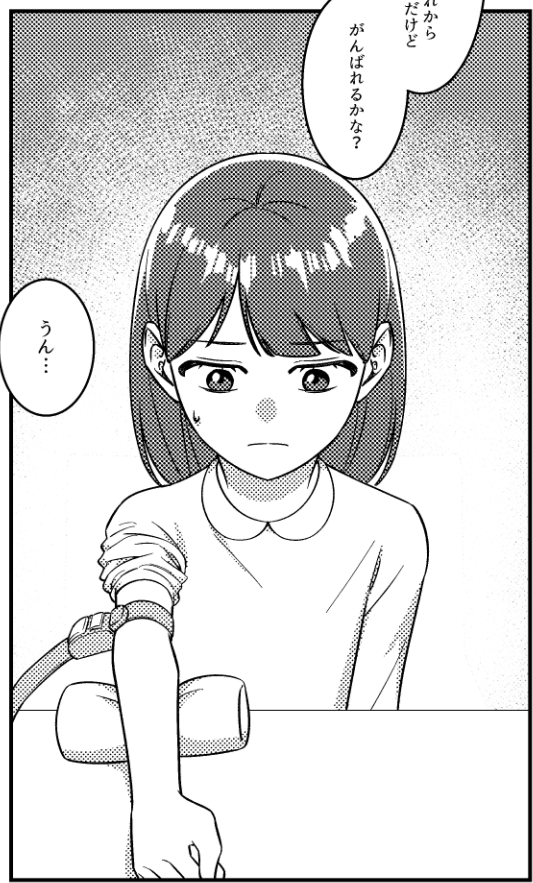
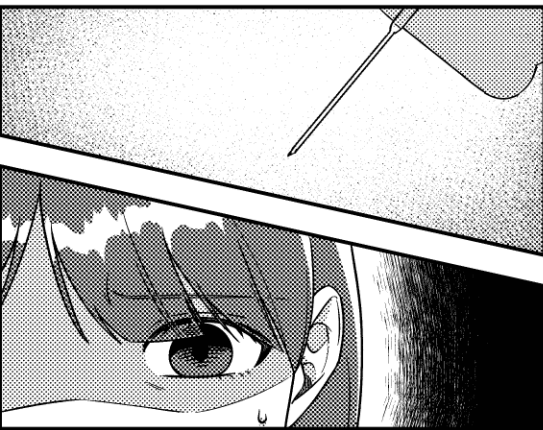
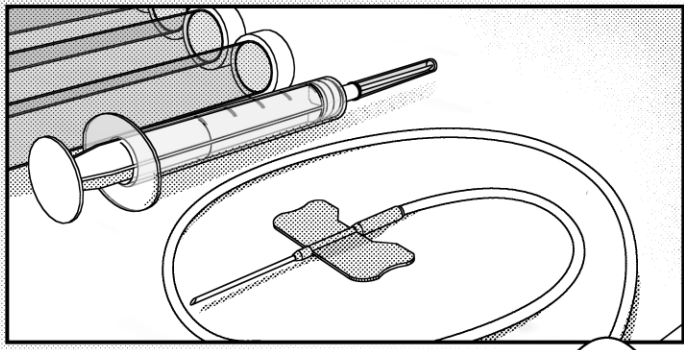


大丈夫



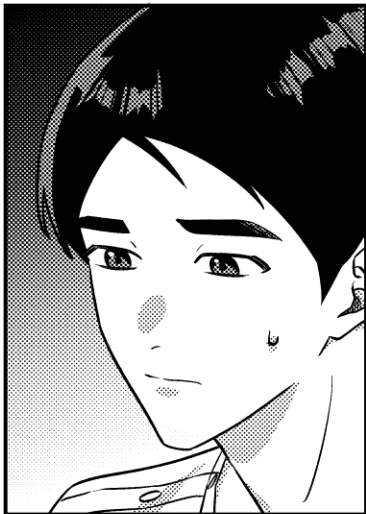
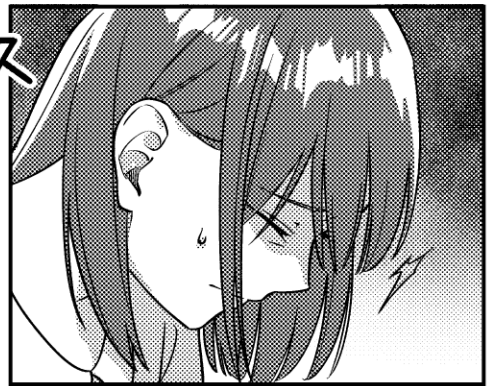
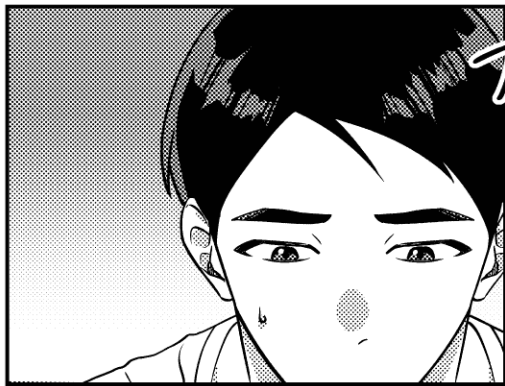
子どもたちの
生きる力になる看護をしよう

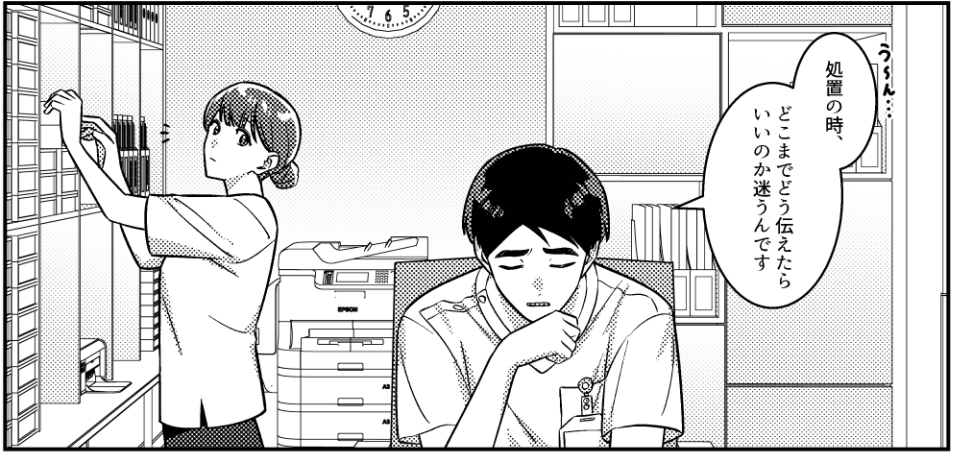
処置室



ユキちゃん、これから
ちつくんするんだけど
がんばれるかな？

うん…



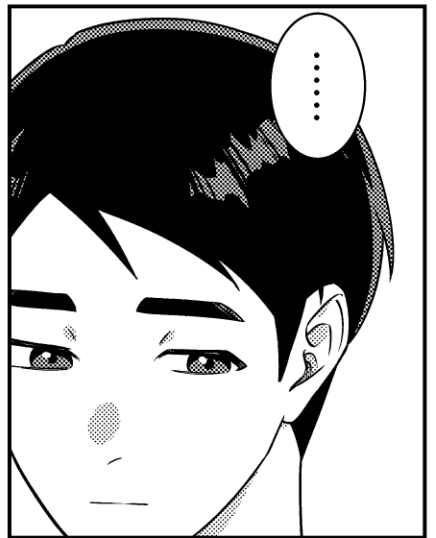
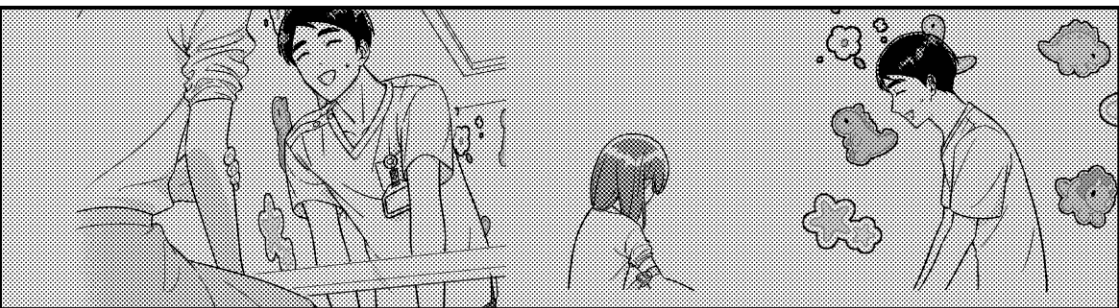


処置の時、
どこまでどう伝えたら
いいのか迷うんです



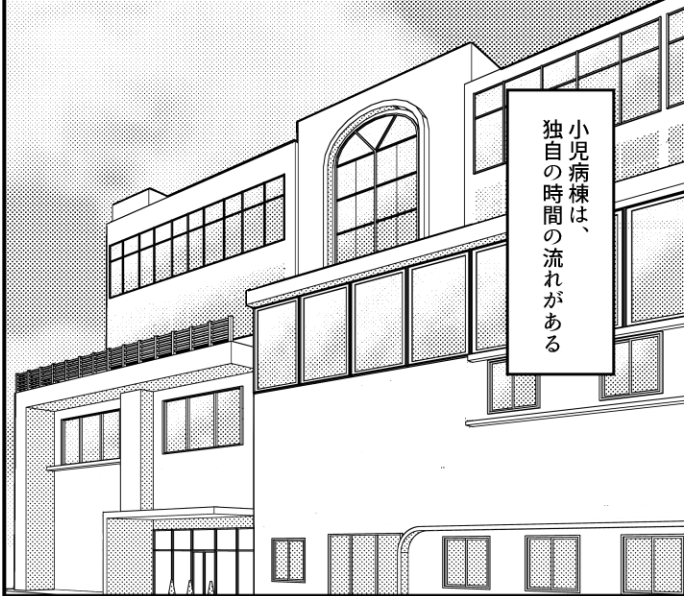
年齢や性格、病状や生活背景、
いろんな情報をつないで考える

励ましだけじゃない
プロとしての言葉は難しいよね

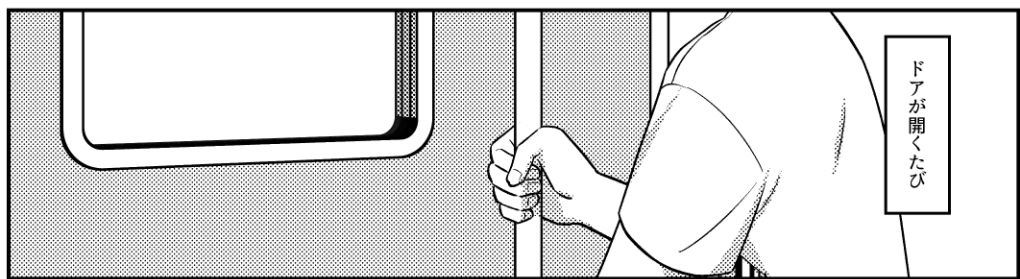




朝は検温と採血



小児病棟は、
独自の時間の流れがある



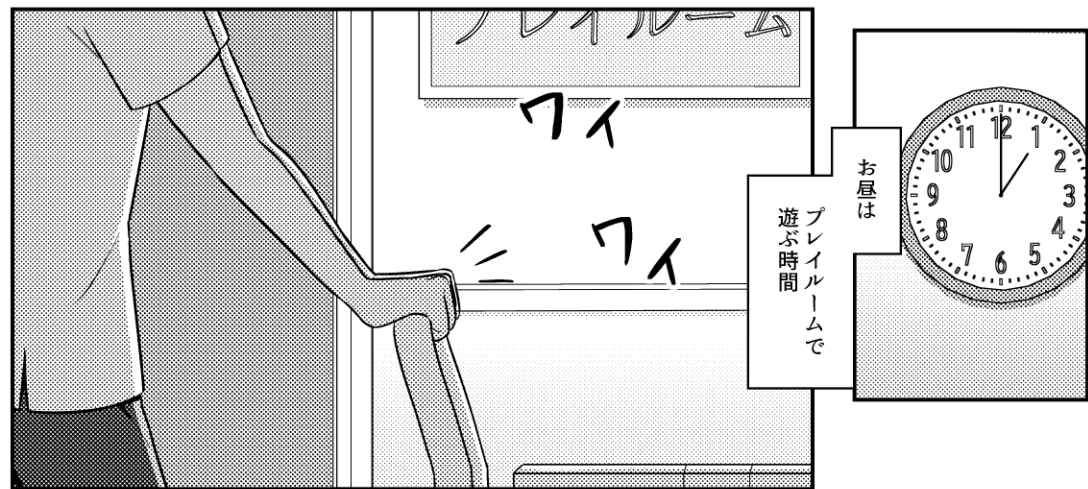
ドアが開くたび

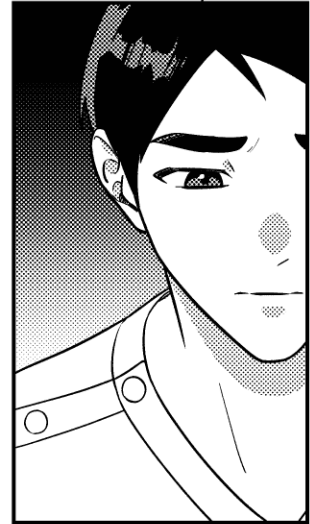
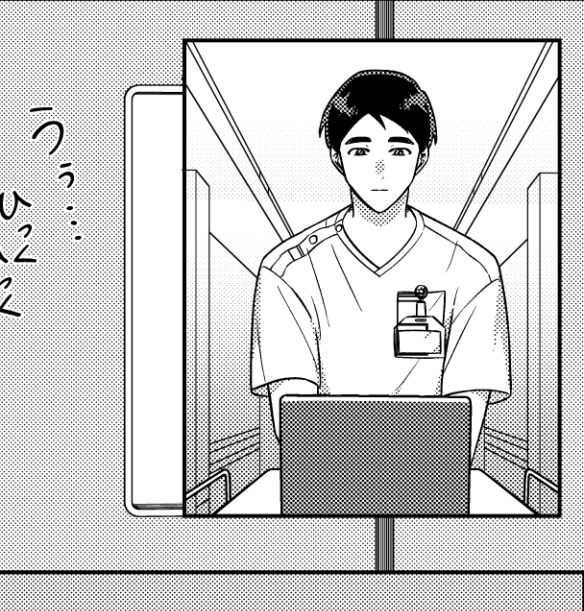
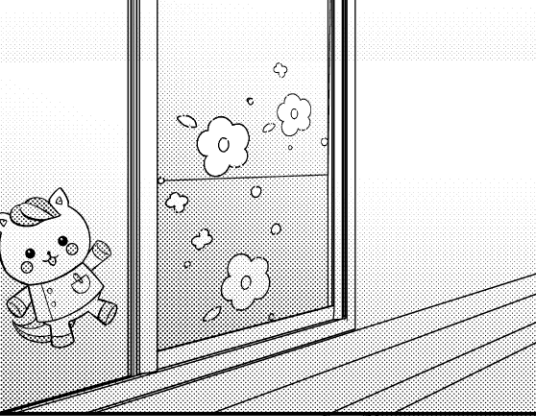


朝は不安が強まる
時間帯だと実感する

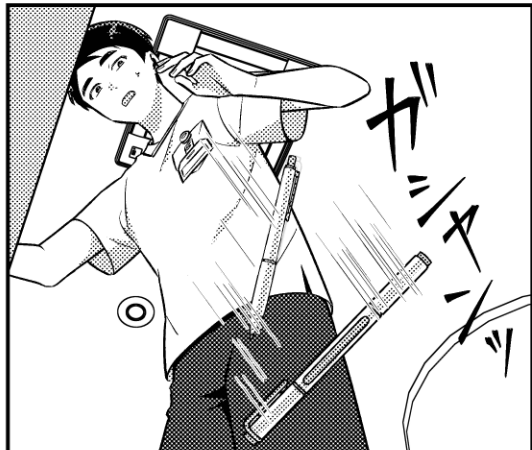
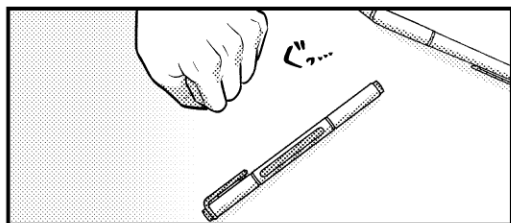
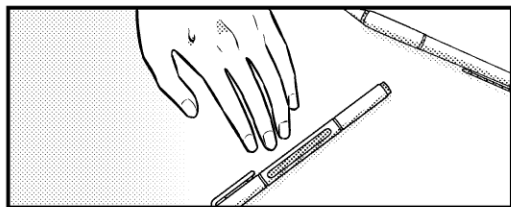
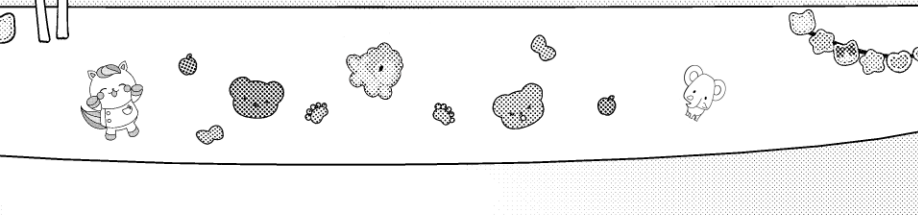


カラッ





きつとそんなことを思いながら
子どもたちは毎日必死に戦ってる



自分の看護はこの子たちの
生きる力になれてほしいなと思うか





子どもたちの処置などで
毎日目はまぐるしく過ぎていく

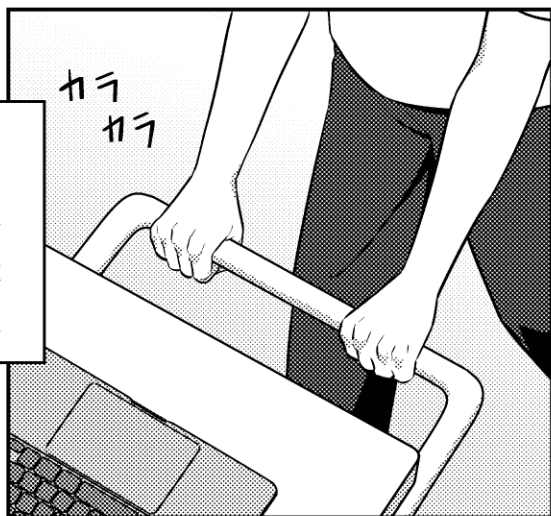
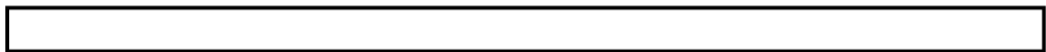
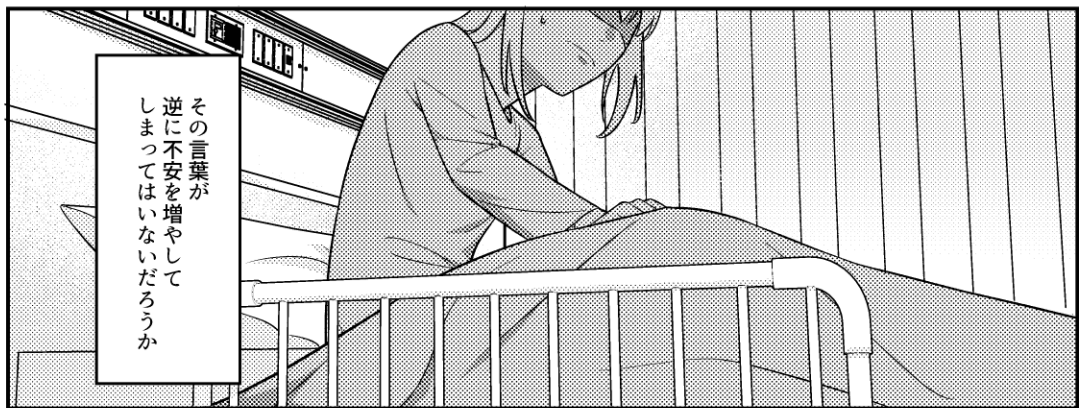


必要な技術と
視点の多さを実感する

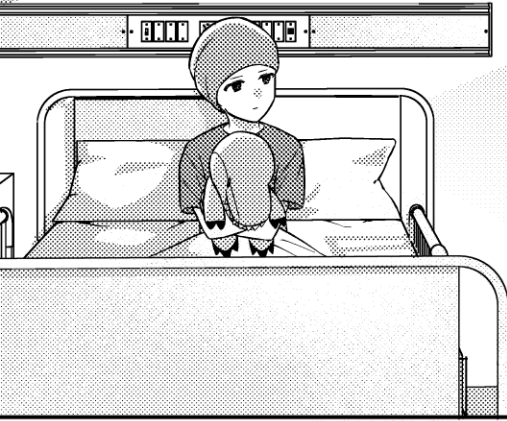


現場に立てば立つほど





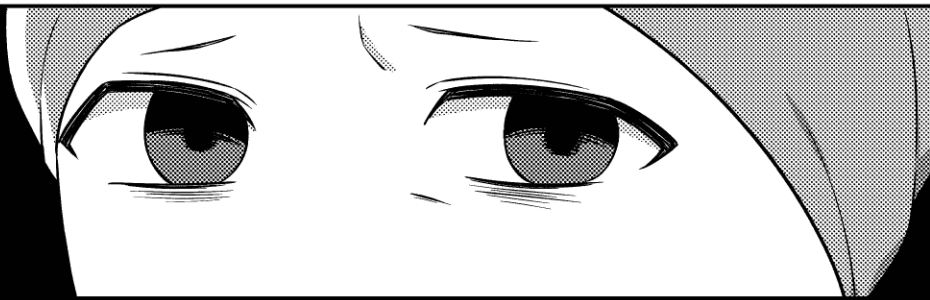
僕は一人の男の子と出会う



この子は確か…

ヒナタくんは
白血病の治療で
入退院を繰り返してるの





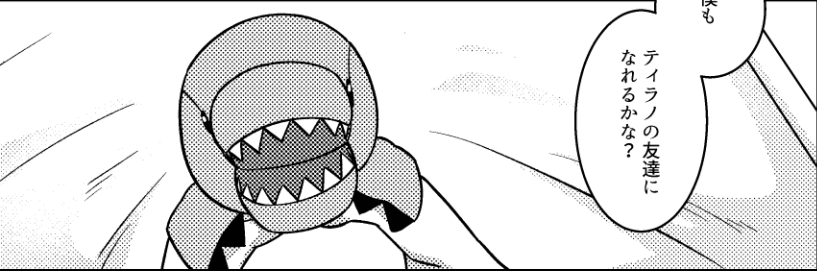
まだ痛いことするの？



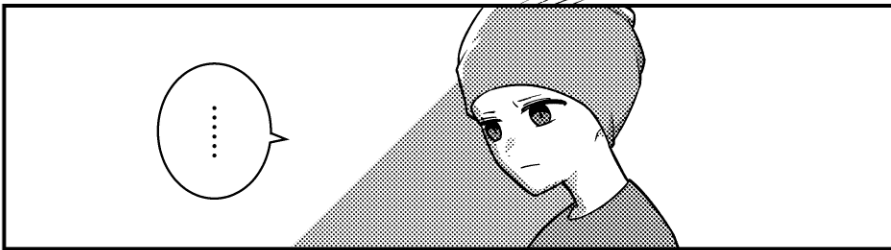
大丈夫だよ



ヒナタくんが早く治るように、
僕も手伝うからね



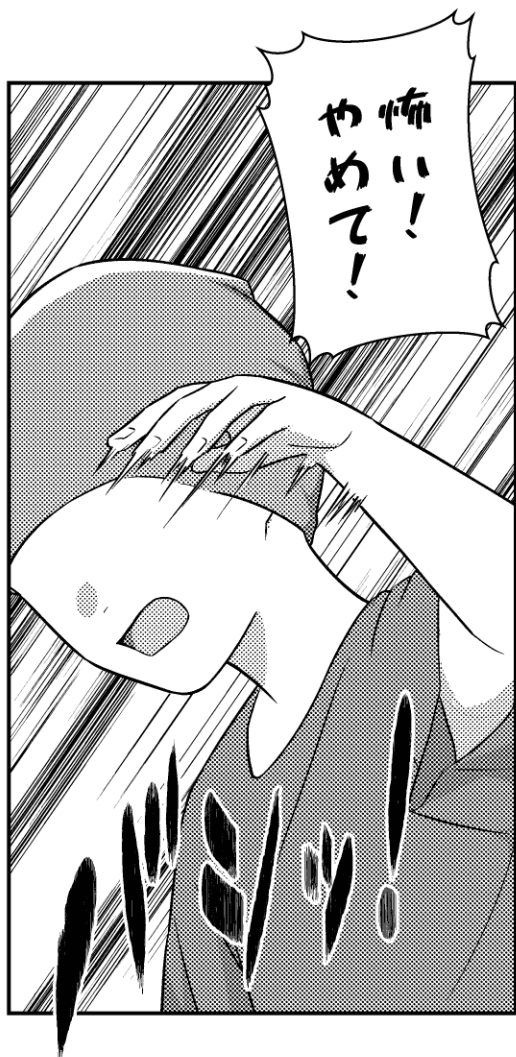
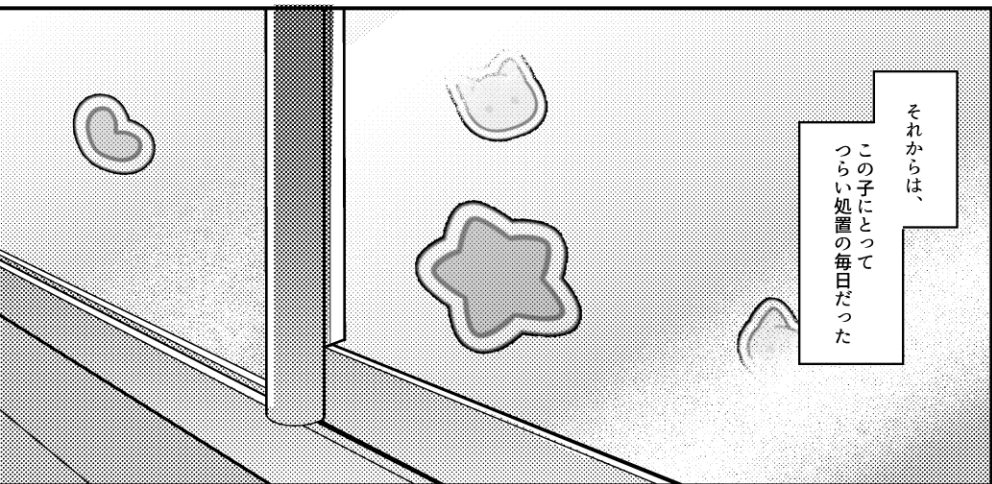
僕も
テイラノの友達に
なれるかな？

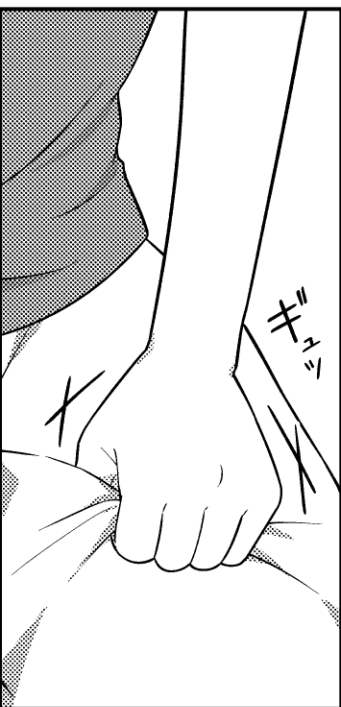


...

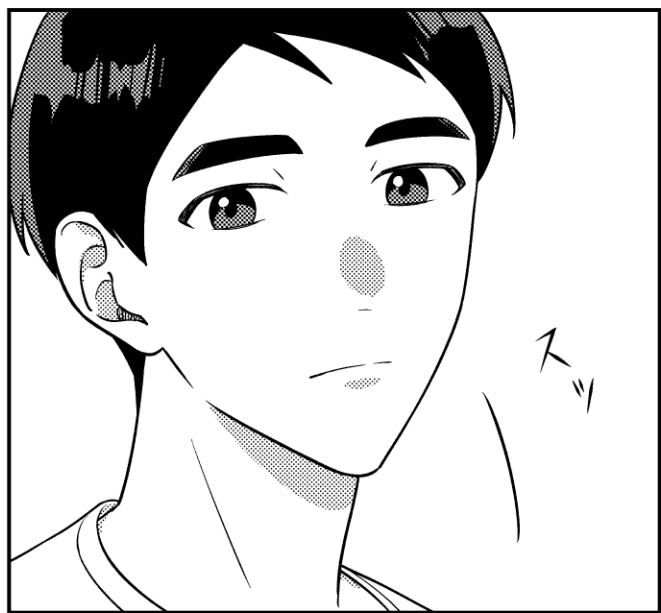


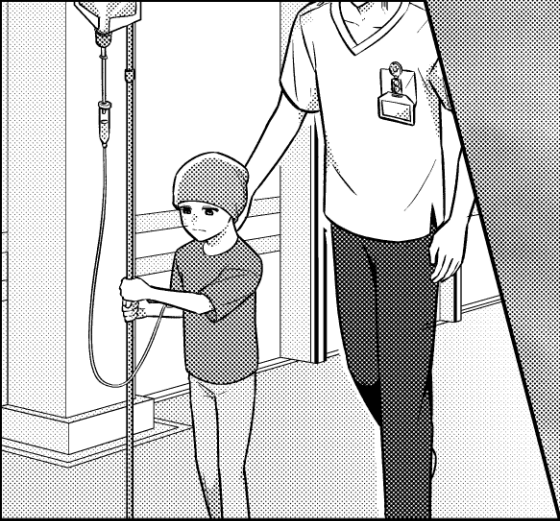
キュ...

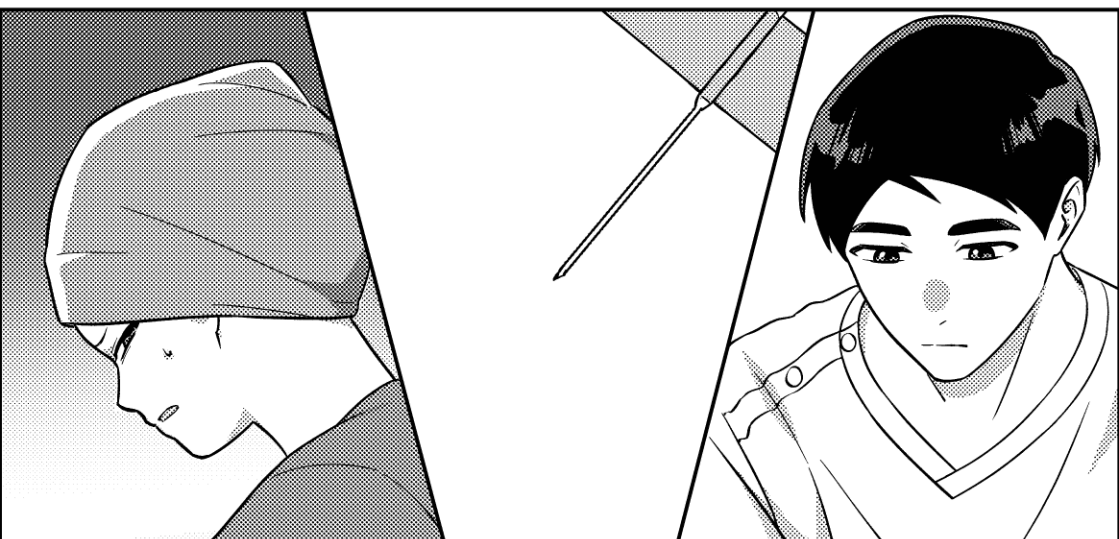


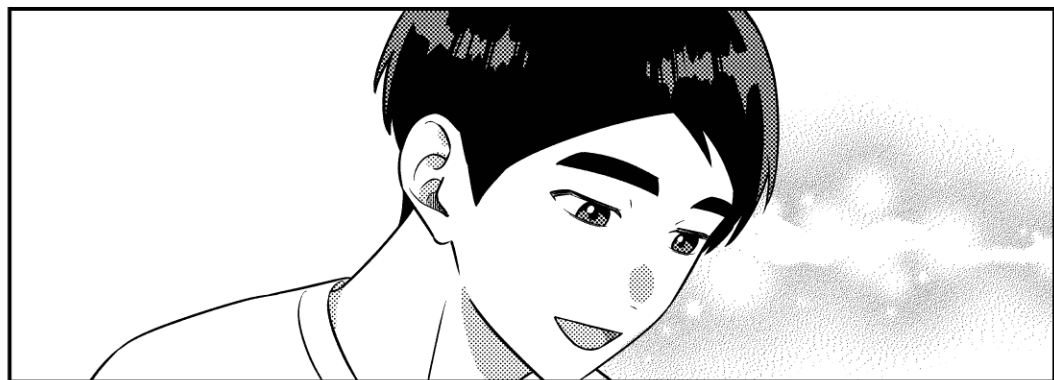


大丈夫だからね

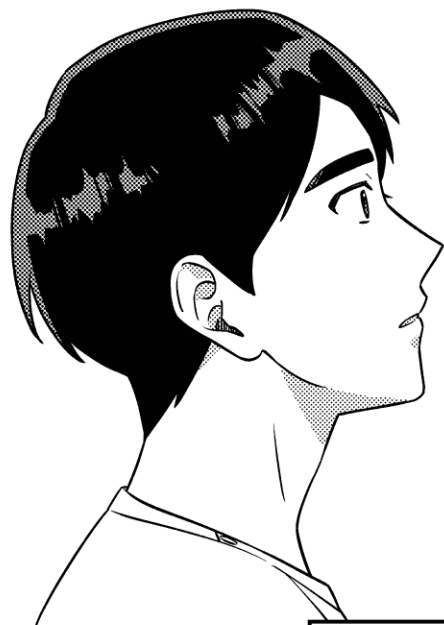






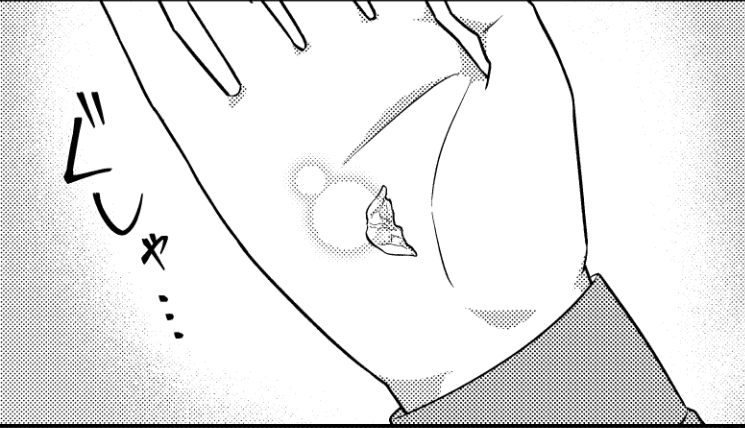


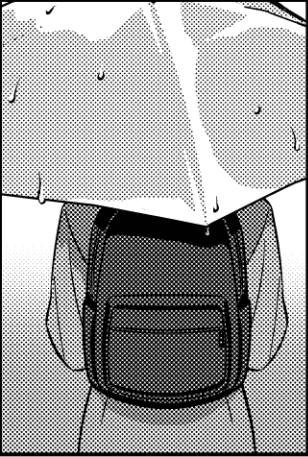
大丈夫だからね



大丈夫って、何が？

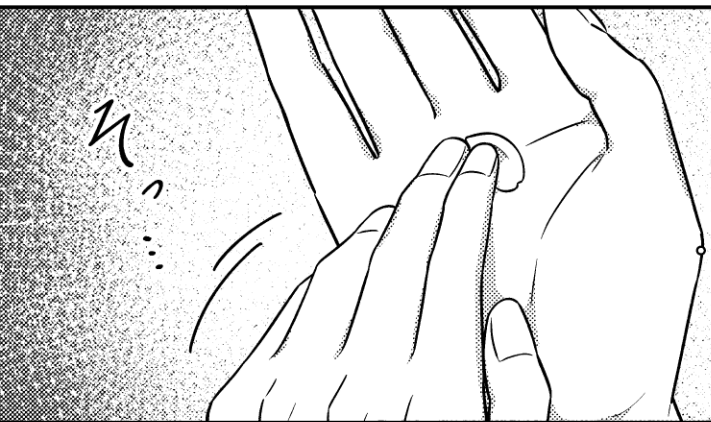






何度も繰り返した「大丈夫」は
いつの間にか自分を
落着かせるための言葉になり、
繰り返すほどに
「わかってもらえない」という
距離を作っていたことに気づかされた

大丈夫だからね

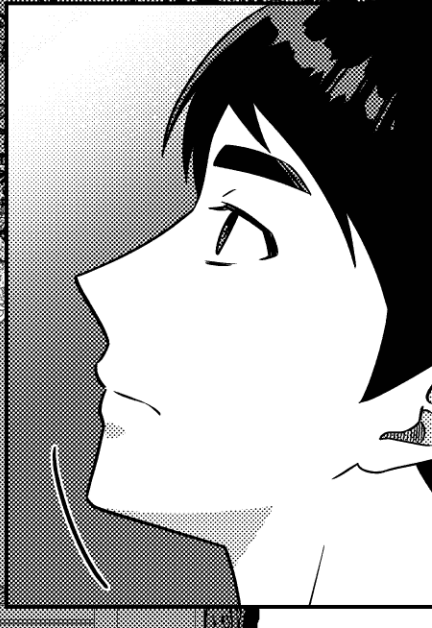


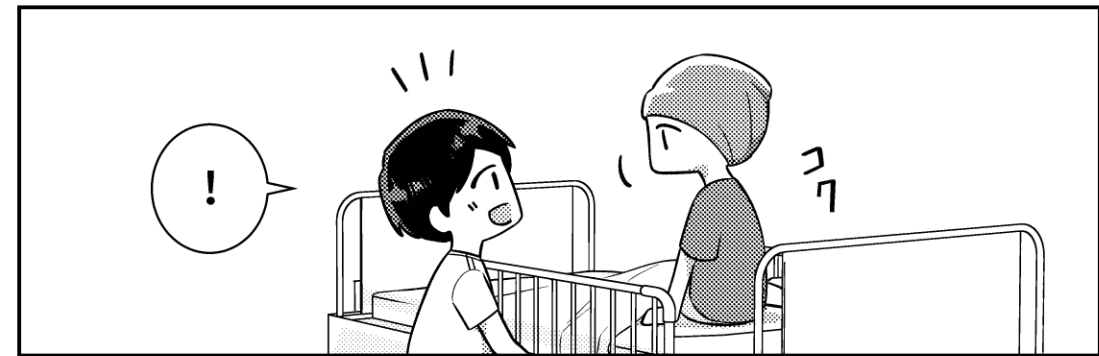
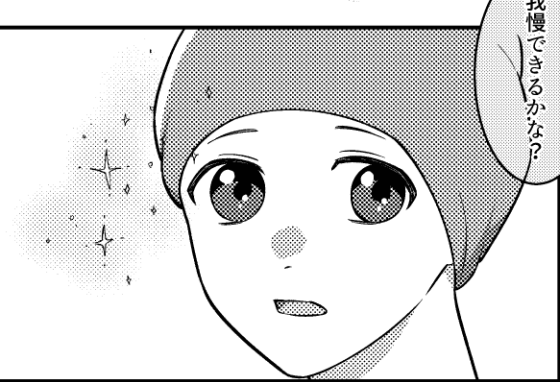
んっ…

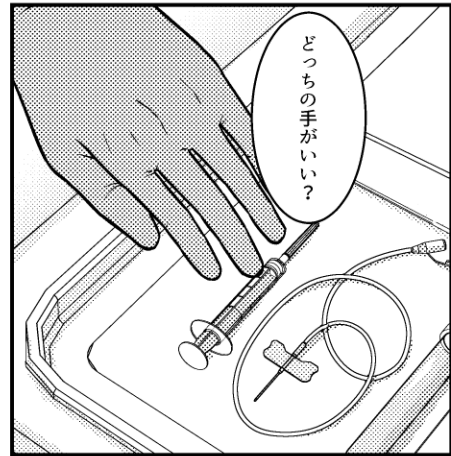
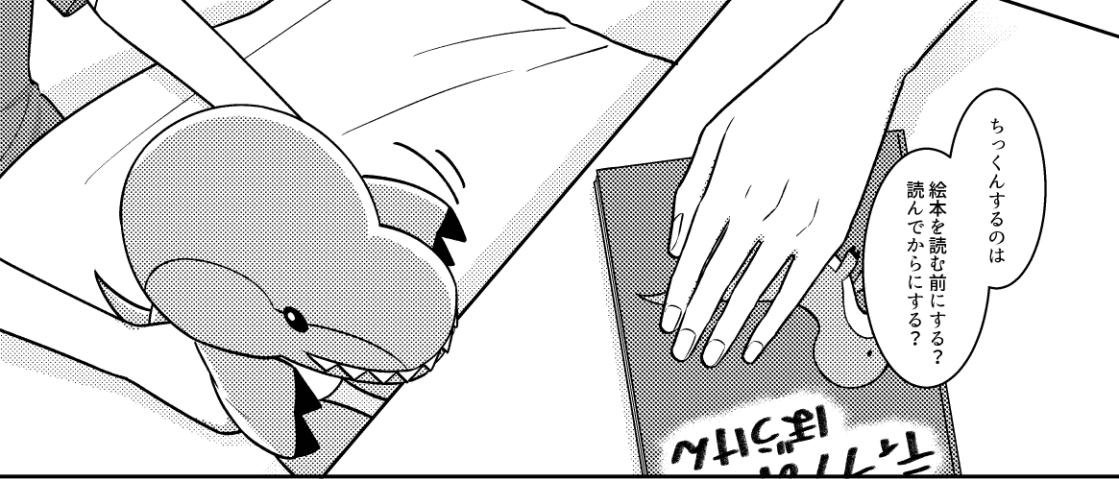
如置の前には、
「何をするのか」「なぜ必要か」を、
子どもにも伝わる言葉で
丁寧に説明しよう



はちやんと届くように

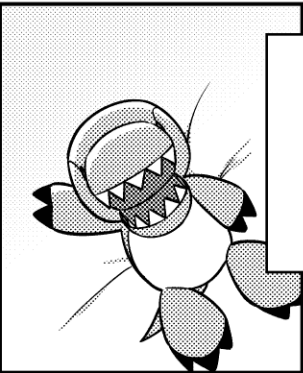






選べるようにしよう

小さなことでも

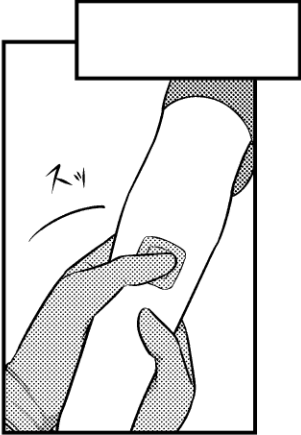




“自分で選ぶ”ことが



治療や処置の
意味を知ること

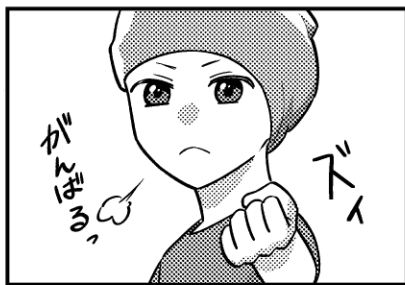


この子の緊張と不安を和らげる
きっかけになっていた



テラノも
がんばったよ!

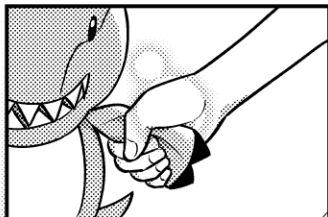
よくがんばったね!



14

9

自分で選び乗り越えた体験が
少しずつこの子を強くし



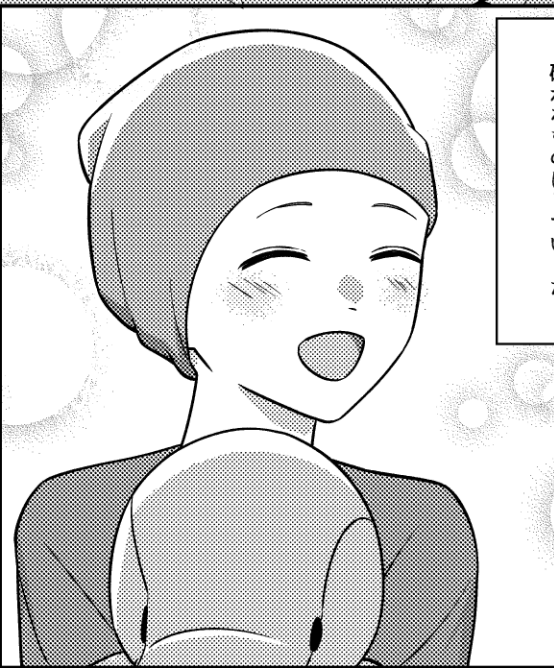
7

4

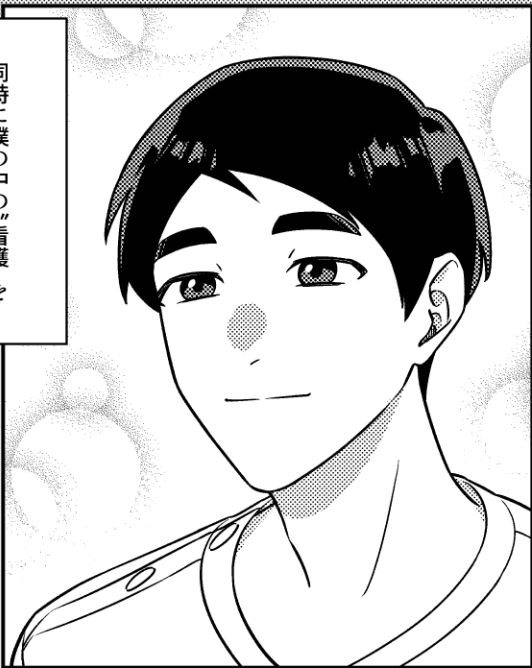


1

3

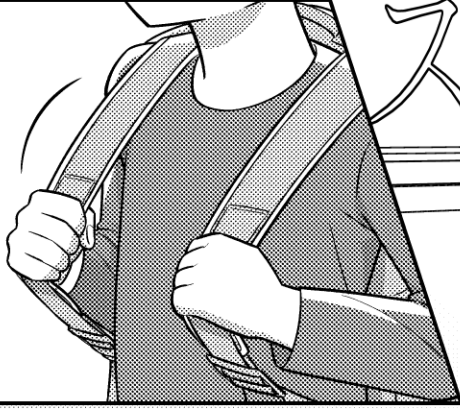


同時に僕の中の「看護」を
確かなものにしていった

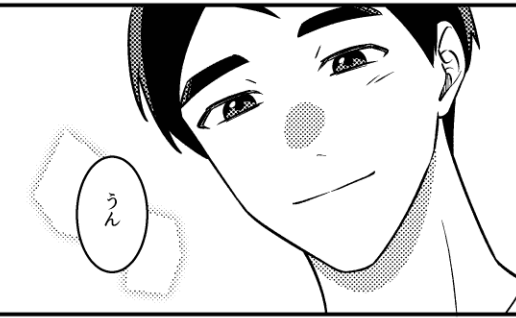


スタッフステーション

そして退院の日――



もう、
大丈夫だよ




うん



大丈夫！

人生や成長に触れ

その人の最善を
一番近くで考え、支える



そのことを、
あの小さな患者が教えてくれた

治すだけじゃない仕事

それが看護だ





2026年度「忘れられない看護エピソード ～いのち・暮らし・尊厳を まもり、支えるプロフェッショナル～」
2026年度「看護の日」日本看護協会

<https://www.nurse.or.jp/aim/simin/episode/index.html>

